

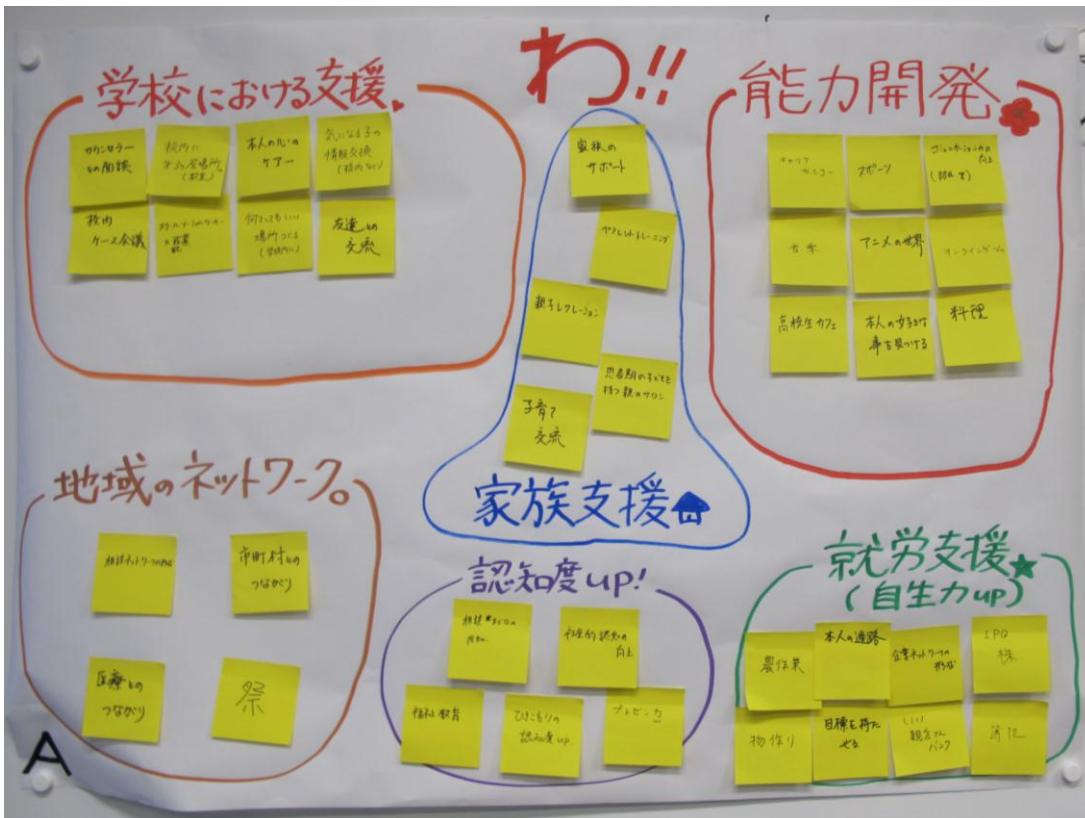
「平成 26 年度ひきこもり相談支援従事者研修会(京都府青少年の社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議)」を開催しました！(北部会場)

「ひきこもり相談支援従事者研修会」を市民交流プラザふくちやま（平成 26 年 12 月 19 日）で開催しました。

京都府内でひきこもり支援に関わる教育・福祉関係者、民間支援団体職員、行政職員など約 30 名が出席しました。

グループワークでは、「ひきこもりの早期支援として必要な取組」を参加者ひとりひとりがアイデアを出して共有し、参加者自身にできることを考えました。

【グループワークの成果】



E

アセスメント

アセスメント (19.10.04)

家庭療法

本人の認知と感情の両方からアセスメント

本人の理解が大事!!

さあアセスメントから始めよう。

連携

医療 福祉 連携

関係するスタッフや地域の専門家と連携

地域の専門家との情報共有

学校や地域と連携

D.による療育の連携

関係するスタッフや地域の専門家と連携

啓発

家族の理解を深める

女性の会 親人会

女子会 親人会

関係するスタッフや地域の専門家と連携

学校のPTAの集まり

相談員会

女子会 = 親会

学校のPTAの集まり

ボランティア

女子会 = 親会

学校のPTAの集まり

情報紙の作成

資源開発

NPO法人との連携

支援の充実

行政や民間団体との連携

女子会 = 親会

親会団体との連携

女子会 = 親会

女子会 = 親会

女子会 = 親会

本人支援

本人の認知と感情

本人の認知と感情

本人の認知と感情

本人の認知と感情

E